

第三学期

- ①・色々な材料を使って自由に表現する。
- ②・社会の出来事に興味をもつて表現する。
- ③・人物に簡単な表情をつけることを工夫する。
- ・時間の推移を表現することを工夫する。
- ・立体感・遠近感を工夫して表現する。
- ・グループで協力して楽しく描く。
- ④・適当に色々な色を使って表現する。
- ⑤・作品に対して好き嫌いがわかる。

上述の実態調査でも明らかのようにその発達段階は正に十人十色で、此に個人指導の重要性があります。具体的指導目標に基づきながら個々を指導し、個々を指導しながら、全体をみつめるというように指導していくことが望しいと考えます。

以上、絵画の具体的指導目標の設定について述べて参りましたがこれに基づく一年間の指導を通して具体的指導目標に対する検討がなされなければならないと思いますが、その評価については後の研究に譲りたいと考えます。

(千葉大学教育学部附属幼稚園教諭)

予告

教育実際指導研究会のおしらせ

今年も左記要項によつて、教育実際指導研究会を開催いたしますから皆様多数御出席下さいますようお待ちいたします。なおくわしいことは次号でお知らせいたします。

期日 昭和二十八年六月、四、五、六の三日間
主題 『基礎能力の伸長と教材教具』の主題の

下に、実地指導、研究発表、研究討論会
講演など。

昭和二十八年五月

お茶の水女子大学文教育学部
附属幼稚園